

変更前

品質管理基準
出来形管理基準

平成 23 年 8 月 1 日

上田市上下水道局
上水道課

変更後

品質管理基準
出来形管理基準

平成 28 年 9 月 1 日

上田市上下水道局
上水道課

品質管理基準

変更前

- 水圧試験については、『水道工事標準仕様書』を参照とする。
- ダクタイル鋳鉄管の継手部許容曲げ角度については、『日本ダクタイル鋳鉄管協会 便覧』を参照とする。
- GX 管、NS 管のゴム輪の位置確認は、『日本ダクタイル鋳鉄管協会 接合要領書』に基づき実施し全箇所チェックシートに記入し、全箇所写真管理をおこなうこと。
- 配水用ポリエチレン管融着継手は、『配水用ポリエチレンパイプシステム協会 施工マニュアル』に基づき実施し、全箇所チェックシートに記入し、5 箇所毎に 1 箇所写真管理をおこなうこと。
- 土工については、『長野県土木工事施工管理基準』（長野県土木部監修）による。

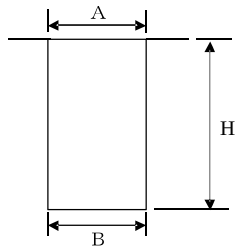
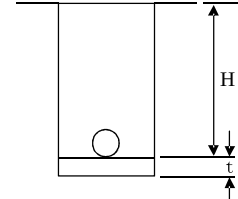
品質管理基準

変更後

- 水圧試験については、『水道工事標準仕様書』を参照とする。
- ダクタイル鋳鉄管の継手部許容曲げ角度については、『日本ダクタイル鋳鉄管協会便覧』を参照とする。
- GX 管、NS 管のゴム輪の位置確認は、『日本ダクタイル鋳鉄管協会接合要領書』に基づき実施し全箇所チェックシートに記入し、全箇所写真管理をおこなうこと。
- 配水用ポリエチレン管融着継手は、『配水用ポリエチレンパイプシステム協会施工マニュアル』に基づき実施し、全箇所チェックシートに記入し、5 箇所毎に 1 箇所写真管理をおこなうこと。
- 土工については、『長野県土木工事施工管理基準』（長野県土木部監修）による。

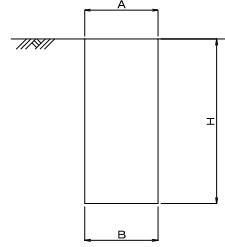
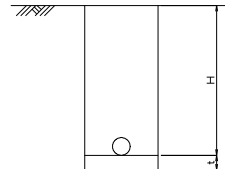
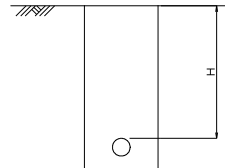
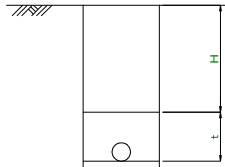
出来形管理基準

変更前

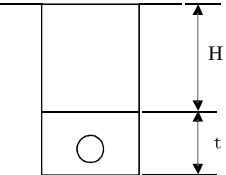
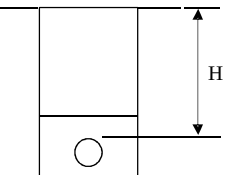
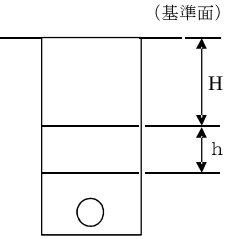
工種	測定箇所	測定基準	規格値 (mm)		合格判定
			深さ (H)	幅 (A・B)	
布設土工 (掘削)		50 m ごとに 1 箇所 の割合を 最小回数 とする。	±30	-50	全箇所満足 しなければならない。
			深さ (H)		
床砂		50 m ごとに 1 箇所 の割合を 最小回数 とする。	転圧後 (H)	±10	仕上げ厚は 掘削深-管理設 深-管厚を控除 した残。 10mm 単位の参 考の厚さ。 全箇所満足 しなければならない。
			口径 (mm)	仕上げ厚 t (mm)	
			PP		
			20	120	
			25	120	
			30	110	
			40	100	
			50	90	
			HPPE		
			75	110	
			100	130	
			150	120	
			200	100	
			DCIP		
			75	110	
100	130				
150	130				
200	130				
250	130				
300	130				
350	130				

出来形管理基準

変更後

工種	測定箇所	測定基準	規格値 (mm)		合格判定
			深さ (H)	幅 (B)	
布設土工 (掘削)		50 m ごとに 1 箇所 の割合を 最小回数 とする。	±30 mm 長野県土木 工事施工管理 基準参照 (下水道編)	-50 mm 長野県土木 工事施工管理 基準参照 (下水道編)	全箇所満足 しなければならない。
			深さ (H)		
基礎砂		50 m ごとに 1 箇所 の割合を 最小回数 とする。	仕上げ厚 (t)	±30 mm	全箇所満足 しなければならない。
			深さ (H)		
管の埋設深		50 m ごとに 1 箇所 の割合を 最小回数 とする。	深さ (H)	±30 mm 長野県土木 工事施工管理 基準参照 (下水道編)	全箇所満足 しなければならない。
			深さ (H)		
保護砂		50 m ごとに 1 箇所 の割合を 最小回数 とする。	仕上げ厚 (t)	±30 mm 長野県土木 工事施工管理 基準参照 (下水道編)	全箇所満足 しなければならない。
			仕上げ厚 (t)		

変更前

保護砂		50 m ごとに 1 箇所 の割合を 最小回数 とする。	転圧後 (H)	±30	全箇所満足 しなければならない。
			口径 (mm)	仕上げ厚 t (mm)	
			13~50	350	
			75	400	
			100	450	
			150	500	
			200	550	
			250	600	
			300	650	
350	700				
管の埋設深		50 m ごとに 1 箇所 の割合を 最小回数 とする。	深さ (H)	+30	全箇所満足 しなければならない。 +30以上の場合は、理由を記入。
埋戻し工		50 m ごとに 1 箇所 の割合を 最小回数 とする。	仕上り厚 (H)	±30	原則として 全箇所満足 しなければならない。